

由利

天理教由利分教会
郵便番号 015-0862
由利本荘市小人町 159
電話 0184-22-0707
FAX 0184-22-1235
yurisoudan13@gmail.com

立教187年 令和6年

10月号



全教一斉にをいがけデー

九月

一ヶ月間の主な歩み

十月

一 三 日	三 日	支 部 例 会 (岩 谷 分 教 会) 13 時
二 四 日	五 日	大 祭 巡 教 おさ づ け 取 次 日
五 六 日	七 日	一 日 お 願 い づ と め
六 七 日	八 日	北 蒲 原 分 教 会 月 次 祭
七 八 日	九 日	北 蒲 原 分 教 会 月 次 祭
八 九 日	十 日	大 教 会 月 次 祭
九 十 日	十一 日	由 利 分 教 会 靈 祭
十 一 日	十二 日	御 本 部 月 次 祭、 由 利 婦 人 会
十一 二 月	十三 日	役 員 當 番、 役 員 會 議
十二 三 月	十四 日	全 教 一 斉 に を い が け デ ー

一 六 日	クリーンデイ YURI
一 八 日	北蒲原分教会靈祭
一 九 日	北蒲原分教会月次祭
二 二 日	大教会月次祭
二 三 日	由利分教会靈祭
二 六 日	御本部月次祭、由利婦人会
二 七 日 ～ 三十 日	役員當番、役員會議
二 八 日 ～ 三十 日	全教一斉にをいがけデー

今月の言葉

由利分教會長

佐々木 正明

今月十月は、立教の大祭の月です。が、天保九年十月二十六日に教祖が月日の社になられてから教祖の五十年のひながたの道が始まったわけですが、今月の言葉は、山本利雄著“いのち”の中の“教祖の最後の御苦勞”を抜粋して紹介させて頂きました。

最後の御苦勞

こうして、教祖八九歳の時、迫害はその頂点に達し、天理教者が永遠に忘れるこのできない最後の御苦労を下さったのだつた。時に、一八六六年陰曆正月十五日のことであつた。信者が大勢参詣して“”を練習していると、巡査が三名やつてきて信者を追つ払い、教祖を櫻木にある監獄所へお連れした。その

ところで教祖は、たつた着物三枚で、何一つ召し上がる事なく、信者が差し入れる白湯だけを飲んで過ごされた。

この冬は、三〇年来の寒さであつた。夜、お寝みの時間がくると、冷たい板の間で、ご自分の履物に、付き添いのひさの帶を巻きつけて、それを枕の代わりにして寝まれた。そこで、格子戸のすき間を通して、吹雪がふき抜けてゆく。当時、教祖の娘で、梶本に嫁いだはるの娘ひさが、付き添いとして、一緒に監獄で苦労をした。この、ひさが、一九二五年に天理教婦人会総会において、「雛型の道」と題して、涙ながらに最後の御苦勞の有様を講演している。その一節を紹介して、教祖の最後の御苦勞の様子を偲んでみよう。

尚ほ、恐れ多くも咎人の待遇であ

りますから、警察の方より持つて来て下さる弁当は、御教祖は一寸も御あがり遊ばれませんので、私は始め三日程、三度乍ら、梶本の家へ食べにやつてもらひ、御教祖様の平素おあがり遊ばす様なものをたとえ一口でも召し上がって頂いたらと思いまして、その板の間の隙間より、その寒いこと、冷えることは、口にも述べられません。その所で御教祖様は、十五日間は、殊に寒い時分で雪

は大変降りまして、西から寒い風が吹き込みます。それに、如何程寒くても御手を温めになる火とてもありません。夜分おやすみの時は、一枚の夜具もありませんから、着物三枚お召しの所一枚お脱ぎ遊ばして、夜具の代りに致しました。又枕とても別にありませんでしたから、勿体ない事では、御座いまするが、止むを得ず、御教祖様の下駄に私の帶を卷いて、枕と遊ばして御やすみ下されたのであります。

来ぬ様になりました、弁当を家より入れて頂く事になりました。

(次号に続く)

あゆみの家二〇四号室 信者宿泊室として使用開始



当教会教職舎“あゆみの家”は、お陰様で主に教会につながる方々が宿泊され使用して頂いておりますが、二階の二〇四号室は、フリーに使える部屋として、特に手を加えない状態で開けておりました。

しかしながら、今後改式される信者さん宅の年祭等を執行する場合、その御家族の自宅は県内になく関東方面等にあり、年祭を執行する場合は、ホテルを予約して泊まらざるを得ないというケースが出てくる事が予想されるようになります。

又部内の利の宮分教会を始め、遠方の信者さん方が大祭等に参拝に来られ、宿泊される事もこれまでと同様に考えられます。

そのような方々に快適に宿泊頂けるように、この度“信者宿泊室”として同二〇四号室にエアコンを設置し、ベッド、テレビ等も備えた部屋を用意させて頂きました。

事前に御連絡頂ければ、宿泊の準備もさせて頂きますので、お気軽に御使用頂きますようお願い申し上げまして、“信者宿泊室”設置のご案内とさせて頂きます。

先人の御遺徳を忍び 由利分教会秋季御靈祭執行

九月二十三日(月)、朝づとめ後より、御靈祭をおこないました。早朝にかわらずご参拝頂き、誠にありがとうございました。

年祭活動に勢いを 由利支部にいがけデー実施

九月二十八日～三十日までの三日間、由利道、矢島町、由利分教会を会場に、にをいがけデーを実施させて頂きました。

支部内の会長さん達を中心に、神名流しや路傍講演、パンフレット配りをおこないました。残暑に負けずに勇んでにをいがけさせて頂きました。



これから行事

第二回 よつぼく一斉活動日

日時	十一月三日(日)
午後一時	受付、一時半 開始
参加費	三百円

内容 おつとめ、諭達拝読、映像視聴、元の理パネルシアター

11月祭典役割表

神殿講話 利の宮分教長

**開扉・献饌の男子の方は十時まで、女子の方は、十時二十分までおつと
め着を着用し、神殿にご集合下さい。**

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	チャンポン	笛	地方(主)	地方(副)	ておどり						会長	会長夫人	会長夫人	矢島町	伊藤奈律子	松田理奈	佐々木めぐみ	佐々木理英子	佐々木良美	小川貴美子	豊島絢子	豊島栄二	豊島栄一	由利道	指図方
											前半	後半																			
小川道子	小松敬子	木内教子	仁佐々木賀由	利東布	雄物川	仁賀保	利翔布	齋藤清一	東滝沢	亀田町	由利道	上之浜	亀田町	由利東布	由利東布	木内正信	木内正信	佐々木由正	佐々木大晃	佐々木由正	佐々木良美	小川貴美子	豊島絢子	豊島栄二	豊島栄一	由利道	指図方				
豊島末子	齋藤美和子	中村柳子	斎藤清一	豊島優	豊島栄二	木内正信	木内正信	齋藤賢爾	小林大晃	佐々木義實	佐々木義實	上之浜	豊島栄二	豊島栄二	豊島栄二	豊島栄二	豊島栄二	豊島栄二	豊島栄二	豊島栄二	豊島栄二	豊島栄二	豊島栄二	豊島栄二	豊島栄二	豊島栄二	豊島栄二	由利道	指図方		
畠山清香	木内美歩	小川昭子	東滝沢	伊藤一男	桑原廣	齋藤清一	小野繁樹	豊島優	豊島優	豊島優	豊島優	豊島優	豊島優	豊島優	豊島優	豊島優	豊島優	豊島優	豊島優	豊島優	豊島優	豊島優	豊島優	豊島優	豊島優	豊島優	豊島優	豊島優	由利道	指図方	

矢島町分教会

部内だより

二十九日の全教一斉にをいがけデーには、矢島町へ十七名(そのうち子供四名)が来てくれました。町の声、天理教もこんなに?人がいるんだね」と驚いていました。

由利道分教会

由利道、にをいがけデー、三日間、じじ、ばば、娘、孫とにをいがけに歩かせてもらいました。

十五日会長が教誨師東北ブロック研修秋田大会に参加致します。